

令和6年度 岡山県立勝山高等学校
第2回学校運営協議会 会議

日時：令和6年11月11日（水）

15:00～17:30

場所：会議室

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 授業参観

(4) 学校経営計画中間評価について

進路課長

学習習慣の確立については、学習の質を含めて自己評価をさせながら指導を行っています。今年度初めて行った夏の東進による特別講座も有意義に行うことができました。

学力向上については、A2の層を増やしていくことを目指して指導を行っています。年度当初から就職を希望していた者については、順調に就職先が決定しています。

生徒課長

今年度、先生方が働きかけてくださった効果もあって、生徒のボランティア参加への意識を高めることができました。部活動については、退部者をなるべく減らしたいという目標のもと、部活動ごとに連携を図りながら、生徒が相談しやすい体制を作っています。

直近では、女子バレーボール部やソフトテニス部、また部活動ではないですが空手において優秀な成績を収めています。生徒会活動についても、積極的に意見を出し合いながら生徒主体で行えています。

厚生課長

自殺予防教室、がん教育講演会、防災訓練などの行事を通じて、自分を大切にしようという気持ちを育てています。1年生で取ったアンケートでは90%以上の生徒が自分を大切にしようと感じられたようです。ほけんだよりや防災新聞など、適宜通信を発行することにも努めてきました。

教務副課長

勝山高校のDX化については予定通りに進められており、先生方の意見を取り入れながら改善も加えています。現在は指導要録の入力方法の研究を始めています。

広報の充実については、勝山高校説明会に部活動体験を新しく加えて実施しました。参加者アンケートからは、肯定的意見が約95%という結果でした。ただ、中学1・2年生にももっと参加してもらえるように働きかけるべきであったとの反省もあります。

(5) 協議

委員A

現在、総合型選抜や学校推薦型選抜の受験に向けて頑張っている生徒が多いと聞きます

ので、ぜひ頑張っていたきたいです。

委員 B

授業を見学しましたが、生徒の楽しそうな雰囲気が印象的でした。

勝山高校説明会のアンケート結果から、今後の勝山高校の在り方を探る手がかりがあるのではないかと思います。分析をお願いします。

委員 C

教務課について、新教育課程が始まって3年が経つので、その反省などが分掌の取り組みとしてあってよいのではないのでしょうか。

副校長

来年度の1年生から新たな教育課程が始まります。ただ、教員負担などの観点から、生徒の幅広い学力層のすべてに対応するのが難しい状況もあります。

委員 C

それならばむしろ、新たな教育課程では、2年生までは同じ学習を進めることを魅力として押し出すべきではないのでしょうか。普通科としての勝山高校が、進路指導を基盤に生徒の人間的成長を促す学校であってほしいと思います。

委員 D

勝山高校の実情として、生徒の学力差が激しく先生方は大変なのではないのでしょうか。ただ、今回見学した授業の中では、自分の考えなどをアウトプットする活動が少なかったように感じます。アウトプットの力を指導してあげるべきだと思います。

委員 E

高校教員とは、昔は学習指導のみ行うイメージでしたが、今は精神的な支援や人間的成長を促すことなども請け負っているので大変だと感じました。また、部活動の退部者が減ったことは素晴らしいです。職場においても、長く続かない人が多くなっていて、そのような話し合いもうまくできない人が増えています。

委員 F

授業でのICT活用は良いことですが、それを目標にすることなく、先生の授業のわかりやすさなどを追求していただきたいです。先ほどの部活動に関してですが、複数のタスクを抱えながら両立させることは、大変だが価値はあることだと思います。ところで、中学校のような部活動の地域移行の動きは、現在高校にはないのでしょうか。

校長

部活動の地域移行は中学校を優先している状況で、高校では現在その動きはありません。本校には部活動の指導に積極的な教員もおります。

委員 G

生徒が楽しそうな授業が多かった印象ですが、人と話すのが苦手な生徒のグループ学習には、何らかの配慮が必要なのではないかと思いました。授業に補助教員などはつくのでしょうか。また、就職に関して、求人案内は市内が多いのでしょうか。

校長

補助教員はつきません。習熟度別授業で対応しています。

進路課長

求人案内は、県外からも数百ほど届いています。生徒の希望は市内や県内が多いです。

委員 G

勝山高校としてどのような魅力を打ち出していくべきかが難しいですね。「全て揃っている」という形より、とがった強みを持つことはできないでしょうか。生徒の学力や人間的な幅が広くなることで、先生方に求められる力も多様化しているように思います。

委員 D

共通テストを受験する生徒や、それを入試で使う生徒はどのくらいいるのでしょうか。

進路課長

受験予定者は60名程度であり、その半数が一般入試などで使う予定です。現在は年内入試が主流となっていますが、一般入試で勝負できる生徒を育てたいのが本音です。

委員 C

進路課の到達目標と実態とを比較し、進路指導の在り方を見直す機会なのではないでしょうか。かつて私が感じたカッコいい高校生を育ててほしいと思います。

(6) その他

(7) 閉会